

世界遺産の目的

1972（昭和47年）年、国連のユネスコ総会で、「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」が採択されました。この条約は、ヒトや自然が作り上げた遺産のうち、人類全体のために未来に引き継ぐことが必要だと判断されたものを国際的な協力のもとに保護していくことを目的としています。

「百舌鳥・古市古墳群」も1500年前から引き継がれてきた遺産をこれからも将来にわたって確実に守っていくことを目的として、世界遺産への登録をめざしています。



ウェストミンスター宮殿、ウェストミンスター大寺院及び聖マーガレット教会（イギリス）



ヴェゼール渓谷の先史時代史跡群と洞窟壁画群（フランス共和国）



イエローストーン国立公園（アメリカ合衆国）



アテネのアクロポリス（ギリシャ共和国）



万里の長城（中華人民共和国）



ガラパゴス諸島（エクアドル共和国）



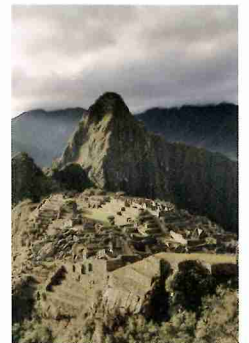
メンフィスとその墓地遺跡ーギザからダハシュールまでのピラミッド地帯（エジプトアラブ共和国）



アンコール遺跡群（カンボジア王国）



ラパ・ヌイ国立公園（チリ共和国）



マチュピチュの歴史保護区（ペルー共和国）